

INON

イノン L 型光 D ケーブル・キャップ W54 セット クリアフォトシステムフィルム付

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

イノン L 型光 D ケーブル・キャップ セット シリーズ は、マリンスノー現象、及びゴースト/フレアの発生を有効に抑制する、「イノン クリアフォトシステム (PAT. P.)」を採用した、対応するデジタルカメラハウジングと弊社デジタルカメラ対応ストロボとを接続する光接続ケーブルです。

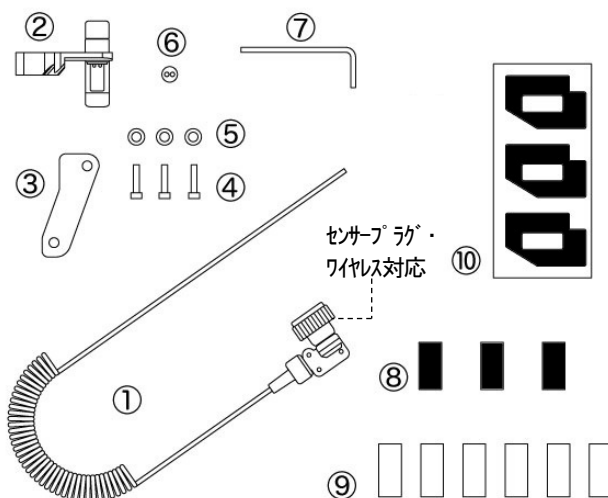
本キャップ W54 セットは、イノン社のデジタルカメラ用純正ハウジング「WP-DC34」専用となります。

製品の主な特徴

- 光ファイバーを用いた「光 D ケーブル接続」により、従来のワイヤスレーブ接続に比べ、水面直下や逆光といった外光の多い条件下でも、より確実にスレーブ発光を可能としています。
- 「クリアフォトシステム」を採用して、「光 D ケーブル接続」の確実性を維持しつつ、フロントボディの透明な純正ハウジングの欠点であった、デジタルカメラ内蔵ストロボによるマリンスノー現象、及びゴースト/フレアの発生を効果的に抑制し、クリアな画像を得る事が可能です。
- ストロボとの接続に使用する「L 型光 D ケーブル」を 2 本まで固定可能な為、2 灯システムにも容易に対応可能です。

製品内訳

・ L 型光 D ケーブル ①	× 1
・ キャップ W54 本体 ②	× 1
キャップ W54 本体	× 1
光ガイドキャップ WL	× 1
光ガイドミラー M	× 1
キャップ 固定ダイヤル	× 1
光ファイバ 固定ダイヤル	× 1
光ファイバ 固定ゴム	× 1
・ キャップ W54 本体 固定板 ③	× 1
・ M4 キャップ ネジ ④	× 3
(取付用の 2 本他、予備が 1 本付属します)	
・ M4 ワッシャー ⑤	× 3
(取付用の 2 個他、予備が 1 個付属します)	
・ 予備光ファイバ 固定ゴム ⑥	× 1
・ 六角レンチ (対応 3 mm) ⑦	× 1
・ クリアフォトフィルム ⑧	× 3
・ 保護フィルム ⑨	× 6
・ フィルムシール ⑩	× 3
・ 使用説明書 (本書)	× 1



対応カメラハウジング : イノン WP-DC34
(2018 年 5 月現在)

接続対応ストロボ : **L 型光 D ケーブルをそのまま、取付け可能な機種 (ワイヤス “対応、ストロボ”)**
(2018 年 5 月現在)

- ・ イノン Z-330、S-2000、Z-240 【Type4】、D-2000 【Type4】

L 型光 D ケーブルのセンサープラグを、「センサープラグ・ワイヤス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種 (ワイヤス “非対応、ストロボ”) (※)

- ・ イノン Z-240 【Type3/Type2/Type1】、D-2000 【Type3/Type2/Type1】
D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220S
- ・ イノン TTL 調光センサー Z + イノン Z-22
- ・ イノン TTL 調光センサー SB + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イノン TTL 調光センサー YS + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イノン フォーカスライトコントローラー + イノン Z-220F/Z-220S/Z-220/Z-22



**「センサープラグ・ワイヤス非対応」
【別売】**

(※) 交換方法については、「センサープラグ・ワイヤス非対応」付属の「ストロボ側 L 型ケーブル仕様変更手順書」をご参照の上、センサープラグの交換を行ってからご使用下さい。

接続方法

：本製品による光Dケーブル接続には、以下の2パターンが可能です。撮影条件やご使用用途により、適宜お選び頂けますが、通常は(A)接続をお勧め致します。

- (A) **クリアフト接続** : クリアフトシステムを用いた通常の接続法。(※) 【第一選択】
 (B) **従来接続** : カメラ単独での撮影(内蔵ストロボ ON)を行う場合が多く、その都度クリアフトフィルムを外す事が困難な場合。(※※) 【第二選択】

※ : クリアフトシステムのご使用には、**タイピング** 毎の点検、及び劣化前の交換が必要です。消耗品である、クリアフトフィルム/保護フィルムが劣化した状態のまま撮影を続けると、カメラ内蔵ストロボ部も同様に劣化する場合があります。ご注意下さい。詳細は本書“クリアフトフィルム/保護フィルムの点検作業について”の項をご確認下さい。

※※ : クリアフトシステムの点検/交換が面倒な場合のみ、クリアフトシステムを使用しない事により、調光精度が低下したり、組み合わせるオプションによっては得られる画像に問題点が発生する場合があります。ご注意下さい。詳細は本書末の囲み記事をご確認下さい。

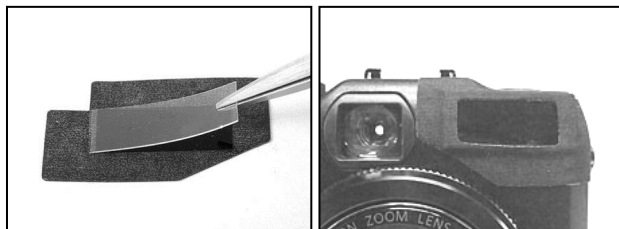
取り付け方法

【接続法(A)のみ】

・ **フィルムユニットを準備し、カメラに装着します**

粘着面を上にしたフィルムシールに、クリアフトフィルム、保護フィルム各1枚を順に貼り付け、フィルムユニットを準備します(保護フィルムはカメラ内蔵ストロボを保護する為の物ですので、ストロボに接する側(内側)に貼り付けて下さい)。

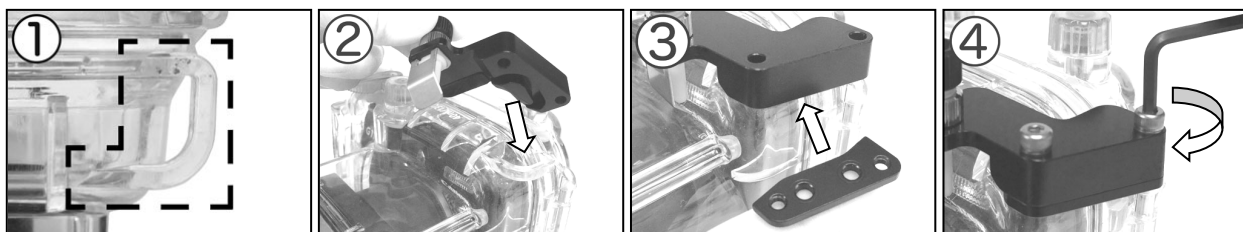
フィルムユニットを、カメラの形状に合わせて内蔵ストロボ部へ貼り付けます。



・ **キャップ W54 メガ-ユニット本体をハウジングへ取り付けます**

ハウジングの左手側「ストラップ取り付け部」(下画像①中点線で囲んだ部分)に、“キャップ W54 メガ-ユニット本体”を溝が合うように上から被せます②。

「ストラップ取り付け部」を挟むように、下から“キャップ W54 メガ-固定板”を重ねます③。“キャップ W54 メガ-ユニット本体”と“キャップ W54 メガ-固定板”の本体側面が揃うように位置を合わせ、付属の M4 キャップネジと M4 ワッシャー各2個を用いて仮止めします。その後、M4 キャップネジの片側だけが締め付けられた状態とならない様、付属の六角レンチで交互に、均等な力で締め付けてください④(※)。



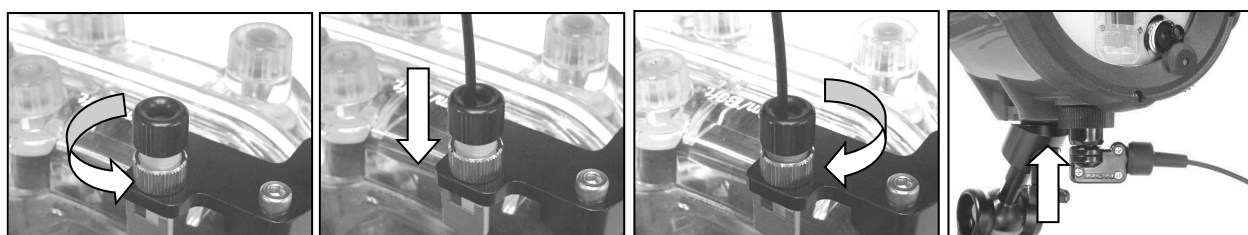
※ : 強く締め過ぎると、ハウジングの「ストラップ取り付け部」が破損する恐れがありますので、十分ご注意下さい。また、作業を行う前にハウジング本体の「ストラップ取り付け部」にゴミ等の付着物がないかどうか、確認してから取り付けして下さい。付着物を取り除かずに取り付けを行うと、確実な固定が出来ず、キャップ W54 メガ-ユニット本体や、キャップ W54 メガ-固定板の破損や脱落、あるいは、ハウジング本体が破損するなどの恐れがあります。

本製品の取り付け作業を行う前、及び取り外し作業を行った後に、ハウジング本体の「ストラップ取り付け部」とその周辺部に亀裂や破損・ゆがみがないことを確認して下さい。亀裂やゆがみが発生したままハウジングを水中でご使用になられた場合、水没の恐れがあります。亀裂や破損を発見した際は、使用をお控え頂くことをお勧め致します。

・ **L型光Dケーブルを取り付けます**

光ファイバ固定ダイヤルを下図の様に回して緩めてから、光ファイバ固定ゴムの穴にL型光Dケーブルのケーブル断端側を差し込み、奥まで達している事を確認後、光ファイバ固定ダイヤルを握り込んで固定します。L型光Dケーブルは1本のみでも、2本同時でも、どちらでも固定する事が可能です。

L型光Dケーブルのケーブル断端の取付が終了した後、コネクタ側をストロボのセンサー部に取り付けます。



使用上の注意

- ・ L 型光 D ケーブルは超耐久仕様(最小曲げ半径 2mm)となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまいます。正常に信号が伝わらなくなりましたら、オプションの「交換用光ファイバー-L 型光 D ケーブル/L 型光ケーブル用」と交換して下さい。
- ・ L 型光 D ケーブルをハジックやストレープに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバーが L 型コネクタから外れたり、ストレープ/L 型コネクタ/光ファイバー等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。
- ・ フィルムシール、クリアフィルム、保護フィルムは複数回の使用が可能です。陸上での使用等、フィルムユニットを取り外した際には、フィルムシールの台紙に張り戻して保存する事をお勧めします。
フィルムシールの粘着力がなくなった/クリアフィルムが破損した等、交換が必要な場合には、オプションの「クリアフィルム 光 D ケーブル・キャップ 3/W3/W22/W27/W29/W33/W34/W36/W53/W54 セット用」をご使用下さい。
- ・ 本製品取り付け後、過度な衝撃や振動、無理な力を与えない様、十分ご注意ください。また、本製品自体を持つことはおやめ下さい。何れの場合にも、ハジックが破損する恐れがあります。

クリアフィルム/保護 フィルムの点検作業について

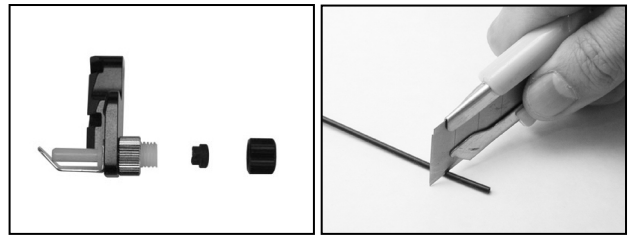
- ・ クリアフィルムは赤外線のみを透過させるフィルターであり、通常は内部に熱を蓄積する事はありませんが、当製品は基本的に消耗品であり、使用を繰り返す事により赤外線の透過性能が低下します。
カメラ内蔵ストレープの発光回数一回当たりの発光量が、他機種と比べて大きいデジタルカメラにてクリアフィルムをお使い頂く場合、あるいは、(弊社ストレープ)にはアドバンストチャンネル回路が搭載されており、一般的なご使用条件では発生する事はないと考えられますがカメラ内蔵ストレープを常にフル発光させるような場合は、発光時の熱による劣化が相対的に著しくなり、使用を重ねる事で焼け/溶解といった現象を起こし、光を透過させない状態となります。
この状態のままご使用を続けられますと、カメラ内蔵ストレープユニット内部に熱が蓄積され続け、結果的にカメラ本体の内蔵ストレープ プリズム部に熱変形が生じる恐れがあります(※)。
- ・ 当現象を回避するために、弊社製クリアフィルムを貼り付けてご使用頂く場合[接続法(A)でご使用頂く場合]、必ず、下記要領にてご使用毎の点検/交換作業、及びご使用状況の確認を行って下さい。

- ・ ダイレクト後必ず[クリアフィルム/保護フィルム]の状態をご確認頂き、[クリアフィルム/保護フィルム]に焼け/溶解の兆しが発生する前に新品と交換して下さい。
- ・ [クリアフィルム/保護フィルム]の劣化を抑えるため、カメラ内蔵ストレープがフル発光するような状況での撮影はなるべくお控え下さい。

- ・ クリアフィルムを使用せずにご使用頂く[接続法(B)でご使用頂く]事で、クリアフィルム/保護フィルムの定期的な点検/交換作業を必要とせずにご使用頂く事が可能となります。
但し、クリアフィルムを使用した場合に比べ、調光精度が低下したり、組み合わせるオプションによっては得られる画像に問題点が発生する可能性があります。ご留意下さい。各制限事項の詳細は、本使用説明書末の囲み記事をご参照下さい。
- ※ 2014 年 4 月現在、カメラ内蔵ストレープの発光回数一回当たりの発光量が他機種と比べて大きい C-5060WZ/C-7070WZ の 2 機種においてのみ、該現象の発生を確認しており、その他機種での該現象の発生は確認しておりませんが、ご使用条件等によっては、同様な症状が発生する可能性があります。ご留意下さい。

メンテナンスについて

- ・ ご使用後は、真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エタノール等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かります)。
- ・ 特に光ケーブル両端の光ファイバー断面は、キャップ W54 剥が-ユニット本体から外した状態で丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。光ケーブルの断面に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったりと、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。
- ・ 取り外したキャップ W54 剥が-ユニット本体は、構成部品を無くさない様注意して下さい。また、キャップ W54 剥が-ユニット本体の下面に貼り付けてあるゴムシートが、はがれない様注意して下さい。
- ・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバーを切る事が出来ます(L 型コネクタ側の光ファイバーを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP > テクニカル > L 型光ケーブル分解組立』にて公開しております『L 型コネクタ仕様変更手順書』をご参照下さい)。
光 D ケーブルの切断には、カミヤリやカッターナイフ等、鋭利な刃物を使って下さい。切断の際、光 D ケーブルの中心にある光ファイバーの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難くなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。

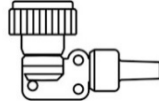


取付作業等を行うに 当たって

- ・ プロテクトに「キャップ W54 剥が-ユニット」を取り付ける作業等(以下、「当作業」等)は、プロテクトの製造元であるヤノ/ヤノマーケティングジャパンが関知している物ではありません。「当作業」等についての質問、お問合せ等は、決してヤノ/ヤノマーケティングジャパンに行わないで下さい。また、同様の理由により、「当作業」等を行う場合、お客様ご自身が全ての責任を負う必要がある事をご確認下さい。
- ・ 「当作業」等を行う事によって、プロテクトの保障期間内であっても、ヤノ/ヤノマーケティングジャパンの無償修理を受ける事が出来なくなる可能性があります。予めご了承下さい。プロテクトの保証条項詳細につきましては、WP-DC34 付属の使用説明書/保証書をご確認下さい。
- ・ 万一、「当作業」等を行う事によって不具合(プロテクト本体、プロテクト付属品、プロテクト内にセットするカメラ本体等の不具合等)が生じた場合、弊社は一切、その責任を負いかねます。
- ・ 万一、「当作業」等を行う事によって浸水等の不具合が生じ、この不具合に起因する、付随的損害(撮影に要した諸費用及び撮影により得べき利益の喪失等)が発生した場合においても、弊社は一切、その責任を負いかねます。
- ・ 以上の注意事項、及び補償条項について、ご納得頂けない場合には、「当作業」等を行わないで下さい。未使用の場合に限り、関連製品の返品を受け付けます。詳細につきましては、弊社までお問合せ下さい。

オプションについて

- ・ L 型光 D ケーブル ¥6,200-(税抜)
製品内訳画像中の、①です。対応するストロボ 2 台と、キャップ W54 カメラユニット本体とを直接接続する際、追加が必要となります。
- ・ 交換用光ファイバー・L 型光 D ケーブル/L 型光ケーブル M 用 ¥4,000-(税抜)
製品内訳画像中の、①からストロボ 取付用のコネクタを除いた物です。
- ・ クリアフォトフィルム 光 D ケーブル・キャップ 3/W3/W22/W27/W29/W33/W34/W36/W53/W54 セット用 ¥1,500-(税抜)
製品内訳画像中の、⑧、⑨及び⑩のセットです。
- ・ キャップ W54 カメラユニット(予備部品付) ¥5,300-(税抜)
製品内訳画像中の、②、③、④、⑤、⑥及び⑦のセットです。
- ・ ストロボ側 L 型コネクタキット(ワイヤレス対応) [保守部品] ¥2,500-(税抜)
製品内訳図中の、①から光ファイバーを除いたコネクタユニットの交換キットです。
- ・ センサープラグ・ワイヤレス対応 [保守部品] ¥600-(税抜)
本製品に標準装備されている、ワイヤレス「対応」ストロボ用のセンサープラグです。
- ・ センサープラグ・ワイヤレス非対応 [保守部品] ¥600-(税抜)
ワイヤレス「非対応」ストロボ用のセンサープラグです。本製品を、ワイヤレス「非対応」ストロボ(本書内「接続対応ストロボ」の項参照)に使用する場合に、本製品のセンサープラグ・ワイヤレス対応と交換します。



有限会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL http://www.inon.co.jp/
2018 年 5 月

※ 外部ストロボを使用する際の注意点、特に、クリアフォトシステムを用いないで外部ストロボをご使用の際には・・・

クリアフォトシステムを用いず、外部ストロボ(カメラ内蔵ストロボのスレーブストロボとして)を使用する場合や、他の外部ストロボと組み合わせて 2 灯以上の増灯を行う場合、撮影条件によっては、得られる画像が歪みとなる可能性があります。

この現象は、(カメラ内蔵ストロボを含め)多灯とする事でストロボシステム合計の最小発光光量が大きくなり、調光範囲の最短側が長くなってしまう事に起因します。特に、特定の(内蔵ストロボの最小発光光量が比較的大きい)カメラで、クリアフォトシステムを用いず増灯を行い、最短撮影距離付近の撮影を行った場合、この現象が顕著に表れます(お手元のカメラの最小発光光量は、カメラ単体で最短撮影距離付近の内蔵ストロボ撮影を行いご確認ください)。以下の対策を行う事で、適正露出とする事が出来ます。ご検討下さい。

- クリアフォトシステムを使用する
- カメラの絞りをより絞った状態に変更する
- ストロボの位置を被写体から遠ざける
- 外部ストロボに減光板等を取り付け、光量を落とす[対応する場合のみ/外部ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。]

また、この接続方法では、カメラ内蔵ストロボの光が完全に遮光されない為、レンズ前のゴミ/浮遊物に可視光成分が反射して、フリンジ現象が発生しやすくなる可能性があります。ご留意下さい。

※ クリアフォトシステムを用いないで内蔵ストロボを発光させ、アタッチメントレンズをご使用の際には・・・

クリアフォトシステムを用いず、アタッチメントレンズを取り付けた状態で内蔵ストロボを発光させた場合、撮影条件、カメラ/ハウジング/マウントベース/レンズアダプターベースの組み合わせ等によっては、得られる画像にゴースト/フレアが発生する可能性があります。

この現象は、透明なハウジングを通過したり、レンズポート内部を通過したりした内蔵ストロボ光が、アタッチメントレンズのハウジング取り付け部側から進入/反射し、有害光として写り込む事に起因します。このような現象が発生する場合には、クリアフォトシステムを用いた外部ストロボ増灯をお勧め致します。クリアフォトシステムを用いない内蔵ストロボのみでの撮影はお勧め致しません。止むを得ず内蔵ストロボのみでの撮影を行われる場合には、アタッチメントレンズ取り付け部側からの有害光の進入を防ぐ様、注意深く遮光を行う事により、ゴースト/フレアの発生を低減出来る可能性があります。ご検討下さい。[この作業を行う場合、必ず「取付作業等を行うに当たって」をご確認頂き、内容にご同意下さい]